

大宮学園 小中一貫教育だより

妹がこっそりせおうランドセル

令和2年3月9日発行 大宮学園事務局

「夢・未来式」(大宮第一小・大宮南小の小4児童)



大中玄関雛飾り

2月16日(日)に大宮南小学校で、また2月22日(土)には大宮第一小学校でそれぞれ「夢・未来式」を実施しました。

この取組は、成人までの節目の年にあたる小4児童と中3生徒で毎年実施しているものです。今回、両小学校では、今日まで育てていただいた親への感謝の気持ち、また自分の将来の夢や決意等、児童一人ひとりが堂々と発表していました。

<大宮第一小：事後の感想> 『家族に感謝の気持ちが伝わった「夢・未来式」』

私は、家族に今までの感謝の気持ちをしっかりと伝えられる会にしたいと思いました。そのために、リコーダーや歌の練習をいっぱいしてきました。それに、感謝の気持ちが伝わるように、せりふをしっかりと覚えて、大きな声で言えるようになりました。

そして、「夢・未来式」当日。群読のとき、私は家族みんなのことを思い出していました。いつもいっしょにいて、やさしく、たまにきびしく、一生懸命、私のことを育ててくれていることを。私は、「ありがとう」という気持ちでいっぱいになりました。せりふもかんぺきで、歌もリコーダーもしっかり覚えて発表できたので、お母さんに感謝の気持ちが伝わったと思います。

最後に、お母さんからの手紙を読みました。お母さんは、こんな気持ちで育ててくれたんだと知って、本当にうれしかったです。私は、今まで、「私のことが嫌いだから怒るんだ。私のこと何にも知らないくせに。」とっていました。でも、「お母さんは私のことが嫌いだから怒るんじゃないくて、私のことを知らずに言っているんじゃないくて、誰よりも私のことを知ってくれていて、私のことを思っているから怒ってくれている。正しく育ててほしいから、怒ってくれている。」と、今なら分かります。

私の名前の「A」は、「B」という意味があります。手紙には、「応援するよ。」と書いてありました。夢に向かって、あきらめずに最後までがんばっていきたいです。

<大宮南小：作文発表> 『10年後のぼく』

ぼくはこれまで、授業中、手をあげるのが苦手でした。けれど、頑張れば手をあげられました。その時ぼくは気づきました。頑張れば手をあげられると思いました。今は授業中に手をあげられています。また、ぼくはすぐにあきらめてしまいます。けれど、だんだんあきらめずにやっていると、あきらめずに頑張れるようになりました。その時、毎日の積み重ねがきつと何かの役に立つと思いました。

ぼくの将来の夢は、看護師になることです。そのきっかけは、病院に行った時です。働く看護師の人を見て尊敬しました。その時に、看護師になりたいと初めて思いました。その気持ちは今でも変わらないままです。病院はあまり行きたくないかもしれないけど、人の命を救う場所です。そこで、看護師としてぼくも人の命を救う仕事をしたいという夢を持つようになりました。これからは、看護師の夢を追いかけるために、やさしく、誰とでも仲良くなれるような人になりたいです。

<第一小：夢・未来式の様子>



<南小：夢・未来式の様子>



「情報モラル講演会」(大宮学園児童・生徒、小中一貫校PTA)

昨年2学期末の12月20日(金)、大宮学園では篠原嘉一様を招聘し、園・保、小・中の喫緊の課題であるスマホやインターネットによる犯罪や被害の未然防止のための講演会を開催しました。

今年度、児童・生徒には各・小中学校で、夜は小中一貫校PTAでそれぞれ講演会を実施し、情報モラルについて啓発を図りました。

<各小・中学校での講演会の様子>



大宮南小(全校)



大宮第一小(4年~6年)



大宮中(全校)

<小学生の感想>

インターネットの怖さや恐ろしさがよく分かりました。一番怖かったのが、LINEとかを乗っ取られて、知らない人に自分と他の人のトークを見られているかもしれないということです。そういうことがないようにしておきたいです。

<中学生の感想>

今回の講演で、SNS等を使う時は、常に「疑う」という心を忘れてはいけないのだなと思いました。私も小さい頃、オンラインゲーム等で知らない人と対戦したことがあります。画面の前だけでその人を判断するのではなく、疑いの心で関わってもいいのかわかりかねることを考えることが自分の身を守る上で大切なんだと思いました。(中略)画面の中の世界もとても広くて素敵だと思うけれど、画面の外、つまり私が普段過ごしている現実の世界にも目を向けていこうと思いました。